

会 議 記 録

会議名称	第3回杉並区社会教育委員の会議
日 時	令和6年1月29日(月)午後2時59分～午後5時06分
場 所	中棟4階 第2委員会室
出席者	委員 諸橋、宮内、檜枝、南、青木、天野、荻上、内山、笹井 区側 生涯学習担当部長、生涯学習推進課長、中央図書館長、 社会教育センター所長、社会教育推進担当係長(社会教育主事)、 社会教育センター社会教育推進担当係長(社会教育主事)
配付資料	<p><配布資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 第2回社会教育委員の会議記録 学び合いのワークショップについて(報告) 小学生名寄自然体験交流事業現地交流報告及び学習成果発表会の実施について 社会教育人材の養成及び活躍促進の在り方について(中間的まとめ)【概要】 第2回会議の発言整理 <p><参考資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 広報すぎなみ2月1日号原稿写し 「発掘された弥生時代」チラシ IMAGINUS 広報紙イマジナスニュース Vol.03 IMAGINUS 1月の開催イベント 親子でサイエンス 教育情報誌『なみすく』2023年冬号 とうきょうの地域教育～豊かな出会いと学びを～No.150 (一社)全国社会教育委員連合『社会教育情報No.90』案内
会議次第	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 「学び合いのワークショップ」について すぎなみ大人塾まつりについて 小学生名寄自然体験交流事業について <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 今期の検討課題について 今後の予定について <p>第4回社会教育委員の会議 令和6年3月19日(火)午前 ※予定</p>

(意見要旨)

- 議長 会議を始めます。生涯学習担当部長からご挨拶をお願いします。
- 生涯学習担当部長 まず、この場をお借りして能登半島地震の被災者の方に、改めてのお悔やみとお見舞いを申し上げます。
- 杉並区は東京都を通じた輪島市への対口支援を行いながら、交流自治体である南相馬市を通じて七尾市に物資のリレー支援も行っています。都市基盤、ライフラインなど震災対応全般について様々な課題が突きつけられたことで、改めて備えが大事だと思いました。防災や災害対応も社会教育の一つのテーマとなります。学びを通じて区民の皆さんの理解が進んでほしいと願います。
- 「社会教育活動への支援のあり方について」の検討が今日から本格的にはじまります。こうしたことを念頭に置きながら、実りの多い会議となりますよう、お願いいたします。
- 議長 それでは、報告事項に入ります。事務局からお願いします。
- 社会教育センター社会教育推進担当係長（社会教育主事） 「学び合いのワークショップ」の実施報告
- 議長 参加された方から一言お願いします。
- 委員 誰もがフラットに話すスタイルで、フェアで熱気がありました。地域で活動されているプレーヤーの話をリアルに聴くことができるのは貴重で、横のつながりができるきっかけになると思いました。
- この場が今後どういう活動になっていくのか全体の見通しを参加者皆さんにお伝えして協力を仰ぐのもいいと思います。
- 委員 他グループの話の内容が気になったので共有できる時間が取れたらいいと思います。また、知り合えた方たちと何ができるか話したり、連絡を取り合えたりするところまでつながると、さらによくなると思いました。
- 委員 相手のことを聞く、自分のことも見せるということを繰り返す中で社会はよくなっていくとこのワークショップを通じて感じました。また、このスキルを身につけていくことが社会教育だと思う一方で、そこに価値を感じない方たちに人とのつながりを広めていくことも社会教育と感じました。敷居低くいろんな方が集まる場をどうやってつくるか課題を感じました。
- 委員 楽しく有意義な会で、この手法がすごく有効だと感じましたが、スムーズに自己開示できる参加者だったので、これをどうやって広げるかが本当に課題だと思います。
- 委員 今後一步踏み出せずにいる方をどう巻き込むかが大事です。一足飛びに行くよりは、知り合いを連れてくることでも十分次につながる一步になると思いました。
- 議長 本当の生涯学習というのは学習者が何を考え、どういう経験をしたのかを共有するところから始まります。このやり方は工夫が必要ですが、もっと増えていい手法だと思います。
- それでは、その他の報告事項をお願いします。
- 社会教育センター社会教育推進担当係長（社会教育主事） 「すぎなみ大人塾まつり」の実施報告
- 委員 コロナ前より来場者が少ないように感じたので、その点を検証して来年度は実施していただきたい。

- 生涯学習推進課長 「小学生名寄自然体験交流事業現地交流報告及び学習成果発表会」の実施について報告
- 議長 協議事項に移ります。今期の検討課題についてということですが、事務局から資料の説明をお願いします。
- 社会教育推進担当係長（社会教育主事） 資料5について説明
- 議長 社会教育活動と社会教育行政を一緒にして社会教育と言っていますが、社会教育の教育とは、住民の自主的なお互いに学び合ったり教え合ったりしていること教育と呼んでいるだけで、基本的に住民の活動です。
- 古典的に社会教育活動の支援は3パターンあり、1番目は公民館、図書館といった場をつくること、2番目は団体育成や組織化の支援、3番目は事業に参加してもらうことです。従来の方針類型が変わる中、社会教育活動の支援を検討課題とするとき、社会教育士が活躍できる条件、場を行政としてどう整えたらいいのか。社会教育士が関わることによって事業がどう充実するのか、社会教育関係団体が活動するときの支援の仕方を具体的に検討していければと思います。
- さらに、抽象論ではなく杉並区民の学び、区民同士のつながり、区内のNPOや企業等の活動がどうすればよりいいものになっていくかも議論していきたいと思います。要するに人や団体を通して杉並区社会教育の活動を活性化することがテーマで、具体的に論点を焦点化してご議論いただきたい。
- 委員 社会教育士の資格に関わらず杉並社会教育に関わっているという自覚が大事です。資格があってもきっかけがない方に地域とコネクする支援が必要だと思います。一方で、社会教育と意識せず活動されている方に杉並社会教育の一員という認識を持っていただくことも大事です。
- 委員 自治会、町会、PTAなど重要な役割を担う方たちと社会教育士的な人が寄り添い合えたら、社会教育が伝わるのではないかと思います。ただ、社会教育士は配置すればいいというものでもなく、スキルというより、その人がどういう人なのかが重要になってくるので難しいと思います。
- 委員 ゴール設定が無いまま議論を進めるより、ゴールを共有して議論する方が機能的ではないでしょうか。多様な問題を抱えている人たちのウェルビーイングを考え、何ができるかを洗うことがこの場だと思っています。
- 議長 社会教育とウェルビーイングはどう関係していると考えますか？
- 委員 ウェルビーイングとは、自分たちが幸せだと思える前提をどう捉えるかということです。人生をかけてやりたかった課題に向き合い、貢献できたとか価値あることが提供できたということを指標にするのが、今のウェルビーイングの考え方の柱になっています。社会との関係づくりや対人関係での貢献度がウェルビーイングだと私は思っています。
- 議長 つながり、関係性を充実することがウェルビーイングにつながるということですか？
- 委員 はい。
- 委員 学問分野も細分化していて、その間にすごく重要な課題があるのに、自分の専門分野を追求して先へ行こうとするとさらに細くなるので、横に広げなければならないと常に思っています。
- 毎日の生活の中で本当に必要なところに社会教育士が入る仕組みができないものでしょうか？

- 委員 同じ地域に住んでいる者という立場で、みんなが社会教育の主役だと気付くことができたらいいと思います。
- 議長 言語で社会教育士を表すと、そこから漏れ落ちるものを弾いてしまい、全ての機能を含めることができなくなります。社会教育分野ではかえってマイナスに働くということが確かにあるでしょう。
- 委員 地域では社会教育とか学びと言った途端、大部分の人が引いてしまいます。今は何となく同志の匂いがしたら、アプローチする程度でいます。
- 委員 「すぎなみ大人塾」のコンセプト「大人の放課後」が社会教育のかなりの部分を述べているように思っています、これを「みんなの放課後」にすると、社会教育が目指すところになる感じがします。時間的にも場所的にも曖昧さが残る「放課後」は、多様で切れ目が明確でなく、そこに大事な価値や機能があったりします。
- 例えば、社会教育士で言うと「みんなの放課後マイスター」みたいな人が区民1千人に対して1人いるようなイメージです。
- 委員 社会教育士の活躍の場について議論すると思っていたのですが、何をどう話すとみんなにとってウェルビーイングなのか迷い始めました。
- 議長 社会教育委員の会議は自由な議論ができます。社会教育士の活躍の場をどうするのがテーマになっていますが、これは簡単ではなく、つながるとか、関わり合いをつくるのは、むしろかたちにできないことの方が意味を持つときがあります。
- 委員 何をどこまで話していいのかをすり合わせ、最終的には杉並のポテンシャルを広げることにつなげるのがいいと思いますので、そのあたりを共有できればいいと思います。
- 議長 ありがとうございます。本日はこの辺りで終わりにします。色々のご意見をいただいたので事務局の方で整理し、次回はある程度方向付けをして議論したいと思います。
- では、最後に生涯学習推進課長からご挨拶いただければと思います。
- 生涯学習推進課長 本日も貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。我々は、社会教育士の制度創設を機に、改めて社会教育の裾野を広げていくことを目指しており、地域の新たな担い手をつくるというこれまでの取組とこの制度をリンクさせていくことも今後の課題だと考えています。杉並区の社会教育は先端を行っているという心構えでおりますので、引き続き、よろしくご議論いただければと思います。本日はありがとうございました。
- 議長 それでは、閉会します。ありがとうございました。